

『善の研究』

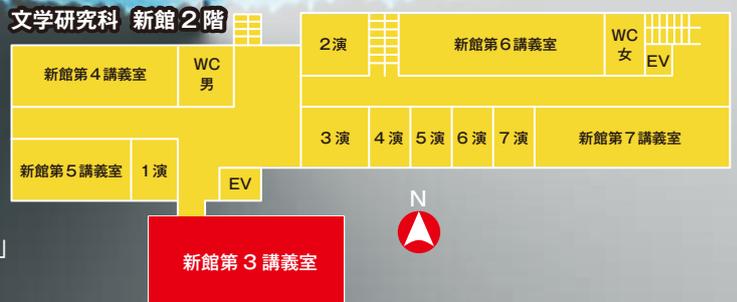
刊行百周年記念国際シンポジウム

日時.. 2010年12月18日(土)・19日(日)

場所.. 京都大学文学部第3講義室

日本の哲学が自立した歩みを始めた記念碑的な著作である西田幾多郎の『善の研究』が刊行されて百年を迎えるにあたり、それが果たした役割、およびその現代的意義について考える。

対象	どなたでも御参加いただけます
参加費	無料
お問い合わせ	京都大学文学研究科総務掛 TEL: 075-753-2700 メール: 010somu@mail2.adm.kyoto-u.ac.jp
主催	京都大学大学院文学研究科
共催	日本哲学史フォーラム、科研プロジェクト 「日本近代哲学の特質と意義、およびその発信の可能性をめぐって」
協賛	京大以文会



京都大学大学院文学研究科主催

『善の研究』

刊行百周年記念国際シンポジウム

International Symposium Celebrating The Centennial Anniversary Of The Publication Of Zen No Kenkyu

12月18日(土)

- 09:20-09:30 オープニング・セレモニー
- 09:30-10:20 基調講演 藤田正勝(京都大学)「『善の研究』をめぐる研究の100年とその将来」
- 10:30-12:30 セッション1 「純粹経験をめぐって」 張政遠(香港中文大学)、日高明(京都大学)、城阪真治(京都大学)
- 14:00-16:00 セッション2 「『善の研究』における自由と悪の問題」 中嶋優太(京都大学)、太田裕信(京都大学)、守津隆(京都大学)
- 16:15-18:15 シンポジウム 「『善の研究』はどのような意味をもったか、どのような意味をもつか」 James Heisig(南山大学)、遊佐道子(西ワシントン大学)、氣多雅子(京都大学)
- 18:30-20:30 懇親会

12月19日(日)

- 09:40-10:30 基調講演 井上克人(関西大学)「『善の研究』という書物—著者・西田幾多郎の位相」
- 10:40-12:00 セッション3 「西田哲学と田辺哲学」 竹花洋佑(大谷大学)、廖欽彬(台湾・国立中山大学)
- 13:30-15:30 セッション4 「論理・神・倫理」(外国語セッション) Marcello Ghilardi(イタリア・パドヴァ大学)、Andrea Leonardi(京都外国語大学)、林永強(香港教育学院)
- 15:45-17:05 セッション5 「西田哲学のひろがり」 朝倉友海(東京大学)、満原健(京都大学)
- 17:15-18:05 特別講演 李光来(韓国・江原大学)「西洋哲学と東洋哲学との対話」(韓国語による講演、翻訳・通訳あり)